

総合科『チャレンジスタディ』シラバス

北海道常呂高等学校

学年		3	単位数		2	授業形態		個別	
教科書 (出版社)		なし			副教材等 (出版社)		計画に合わせて購入予定		
学習目標	○自分の興味関心や進路希望に応じて課題を設定し、その課題の解決を図る学習（PBL）を通して、知識と技術の深化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育成する。								
学習方法	○この科目は、自分の興味・関心、進路希望等に応じて、自ら課題を設定しその実現のための計画を立て、取り組みます。								
	○自ら学び、考え、主体的に判断するなど課題の解決を図る学習を通して、目標や問題に取り組む姿勢や取り組み方をしっかりと身に付けましょう。								
	○個人の活動が主体になりますので、必要に応じて教員と連携し課題解決学習がスムーズに進行するように主体的に取り組んでください。								
	○授業開始前までに、職員室のホワイトボードに学習場所を記載してください。適宜教員が巡回します。								
○毎時間『学習日誌』の記入をして下さい。学習内容などの他に、観点別に自己評価をして下さい。									
学習評価	評価の観点		評 価 の 観 点 の 趣 旨						
	ア	知識・技能	自分の目標達成に必要な知識を十分に身に付け、それらを有機的に関連付けて理解している。						
	イ	思考・判断・表現	自らが計画した目標に対し、目標実現（課題解決）へ向けてしっかりとその進行を考え、取り組んでいる。						
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	自分の目標実現に対して強い意欲を持ち、自分が取り組むべき課題を自ら考え、計画的に進んで取り組んでいる。						
観点		評価方法	①	②	③				
		計画書	授業態度・取組	自己評価					
ア	知識・技能	○	○	○					
イ	思考・判断・表現	○	○	○					
ウ	主体的に学習に取り組む態度	○	○	○					

学習計画

学期	学習内容	評価の観点			評価規準	評価方法
		ア	イ	ウ		
前・後期	○オリエンテーション			○		③
	①課題設定	○	○	○	自分の興味・関心、進路などを考え適切な課題設定ができる。	②③
	②計画作成(解決策の考案)			○	課題解決へ向けて自ら考えようとしている。	②③
				○	課題解決が可能な計画を立てることができる。	①②③
	③グループ討論(複数の場合)			○	課題解決へ向けた計画を分かり易く説明できる。	②③
				○	相手の課題解決案を聞き、理解しようとしている。	②③
				○	適切な課題解決案になるように取り組むことができる。	②③
	④自主学習			○	計画に従い効率的に学習を進めることができる。	②③
				○	学習を進めるに当たり、教員や周囲と連携して取り組むことができる。	②③
		○			課題解決へ向けて、知識・技能の取得ができる。	②③
				○	学習の取り組み状況を『学習日誌』に記載し、観点別に自己評価することができる。	②③
	⑤自主学習成果の応用			○	自主学習成果が課題解決へと繋げることができる。	②③
				○	状況に応じ課題解決へ向け、自主学習内容の変更することができる。	②③
				○	取り組みを客観的に反省・評価することができる。	②③
	⑥まとめ・評価・反省			○	課題解決の可能性を判断し、計画の修正や新たな課題の設定ができる。	①②③
				○		
評価の観点の合計		1	11	12		
評価	ア 知識・技能	1			A 1 B C 0	
	イ 思考・判断・表現		11		A 11～8 B 7～4 C 3～0	
	ウ 主体的に学習に取り組む態度			12	A 12～8 B 7～4 C 3～0	